

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT

エフロード・スーパービートル製作日記

目指せ草レースの鬼!

2009年10月号での企画「100万円以下でクルマ買って直して草レースに出るぞ」がいよいよスタート。当初の予定はポルシェ914に狙いを定めていたけど、タマないしメンテ大変そうだしで断念。そこで浮上したのが911案。これならタマあるんだけど、できるだけ自分たちでメンテしたいってこととモディファイ代の都合で断念。さてどーしたものか。悩んだ結果、我々にぴったりのクルマが見つかった。盲点だった。お金もかからないし楽しいし人気車だし。VWビートルで草レース計画、始めます。

文●半谷範一 撮影●森口信之、エフロード編集部
取材協力●ベストインポートサービス TEL:048-282-6119 <http://www.vw-bis.co.jp>
スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>



これがプロジェクト・スタッフの面々



ビートルで大人のクルマ遊び

ナンバー付きレース車両の予定
街で見かけたら手を振つてくれ

読者の皆さんは昨年10月号の記事、「100万円以下で購入してパリっとメンテして大人の楽しみ草レースに出場するぞ!」を覚えているだろうか? まあ簡単にいっちゃん、安い輸入車買って、自分達で直してレースごっこして遊ぼうという企画だ。

でもその後が結構大変だった。あのときの結論では、一応ポルシェ911か914の中古車を探そうということになつたんだけど、実際に探して見るとこれが中々難しい。予算内のクルマもあることはあるものの、まともな草レース用に仕上げようとするとな車もあんクルマばかり。う~む、こりや作戦変更しなくちや駄目かなあ?

でもそこでハタと気が付いた。輸入車で、草レースに使えて、自分達で直せて、安いいっていうんだつたら、VWの空冷ビートルっていう手があるじゃないの! おまけに空冷ビートルだったら、うちのチーム「クラッシャーズ」がY'sカップで使っているチームカーチがあるから、それを使つちやえれば車買う必要さえないよ。

我が家はもちろんのこと、カメラマンの森口信之さんやスピードジャパンの小澤一彰社長もクラッシャーズのメンバーだから、もちろんこの計画には賛成。せつかくクルマがあるんだから、年にほんの数回しか動かさないんじゃ勿体ないもんね。

もう誰も覚えてはいないだろうけど、古Q編集長たつて今から18年前、今はなき(休刊中?)『くるまにあ』誌で

とあるSHOPに置きっぱだつた1303ビートル ピックアップしてVW専門店BISへと運ぶ

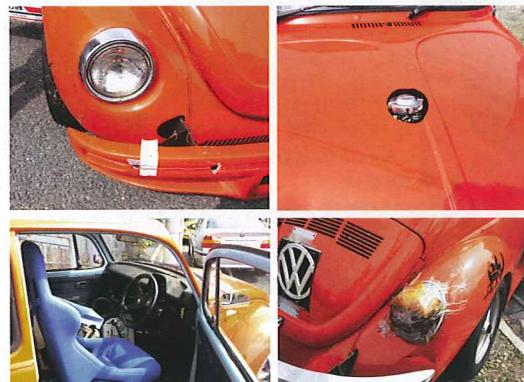
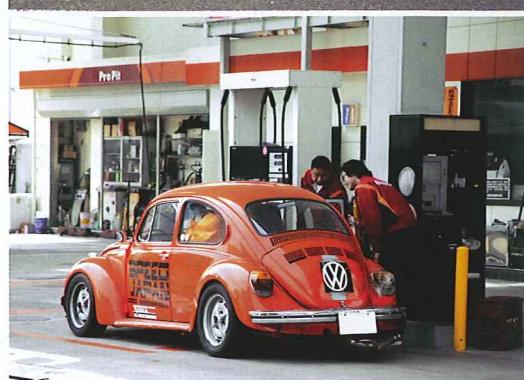


久々に動かすことになったのでちょっと心配だったが、特に問題もなくあっけなくBISに到着。水冷エンジンのクルマじゃこうは行かないだろう。2.0ℓオーバーというのはチューニング・ビートルとしては大排気量。しかし、耐久レース用の大人しいチューニングなので街乗りもOK。



無理を承知で今回の企画をお話したところ、快く引き受けただくことに成功。こうして新企画、『エフロード・スーパー・ビートル・プロジェクト』がスタートすることになった。

草レースの鬼となる ベース車両がこれだ!



プロジェクトの第一歩がスタートした
果たして自走に耐えられるか？ エンジンかかるか？

まずは都内某所に保管中のVWビートルを川口市のBISまで自走で運ぶことに。放置してあっても簡単にエンジンかかるのが空冷ビートルの凄いところ。このクルマ、Y'sカップの4時間耐久用にフロントに100ℓの燃料タンクを搭載している。フロントのバンパー／spoイラーはドイツのケルシャーのブランドで、フードとフロントフェンダーはFRP。現在は内装を剥がしてフルバケを組み込んであるという状態。昨年の4時間耐久でクラッシュしてしまったため、このように右側リアフェンダー周囲にダメージを受けている。

ぐるビー日記』つていう連載を担当してて、それが高じて『BUG BOY』つていうムックまで出したことがあるほどのビートル好きだもんね。「てなわけで古Q編集長、どうだろう？ VWビートルで良ければ1台適当なのがあるんだけど。エンジンは2007ccのチューニング・エンジン載せてるし、Y'sカップでは何度も勝ってるクルマだよ」

「おっ、VWビートルですか、いいですねえ。で、どのタイプですか？」

「74年の1303S」

「マルサンかあ（ショボーン）」

「……じゃ、マルサンでいいや」

「……わいわいの！」

「でも半谷さん、それを仕上げるにしつつ完全にウチらだけじゃ無理ですよね。やっぱりどこのショップに応援をお願いしないと」

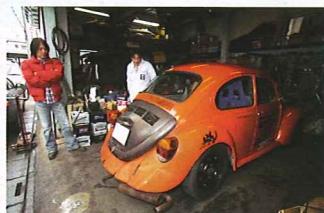
「やっぱりVWビートルを使ってこういう企画をやる以上、『の人』にお願いするしかないでしょう」

「あの人」というのは埼玉県川口市にあるVW専門店、『ベストインポートサービス』（略してBIS）の山崎正夫社長のこと。実は18年前に『ぐるビー日記』を連載していた当時も、山崎社長が全面的にお世話をっていたのだ。最近では水冷のVWやVV関係のバッテリの販売がメインとなっているものの、やはり空冷ビートルに関する知識や経験は半端じゃない。

B-I-Sの山崎社長にライター半谷さん
にカメラ森口さん親子が中心となり、
1303のボディとシャシの引き剥がし作
業は進む。さすがにビートル乗りだけあ
り、半谷さんも森口さんもメカニックばり
の働き。編集古Qは応援団として写真撮影
と買い出しメインで。

みんなで楽しく5時間かけて シャシからボディを引っぺがせ!

●月●日13時スタート



エンジンを降ろした写真を見ると、
このクルマの元色が水色だとい
うことが分かるだろう。クラッシュ
によるダメージは想像以上に大き
くボディ側にも及んでいたが、空
冷ビートルの構造上、走行性能
に与えるような悪影響はほとんど
無かった。

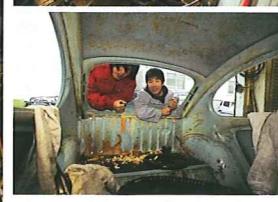


「13:00、ツナギ持参でBISに集合」とか何とか
いっておきながら、やる気のない格好で登場し
た古Q編集長。皆で作業するんじゃなかつ
たの? 山崎社長の指示に従いながら、とりあえず
エンジンや燃料タンクなどを手分けして外して
ゆく。エンジンを降ろしているのは山崎社長の
長男の衛(まもる)君。『くるビ一日記』を連載して
いた当時はまだ小学生だったが、いまではBIS
の貴重な戦力だ。

プロと素人、ガラス外し競争開始!

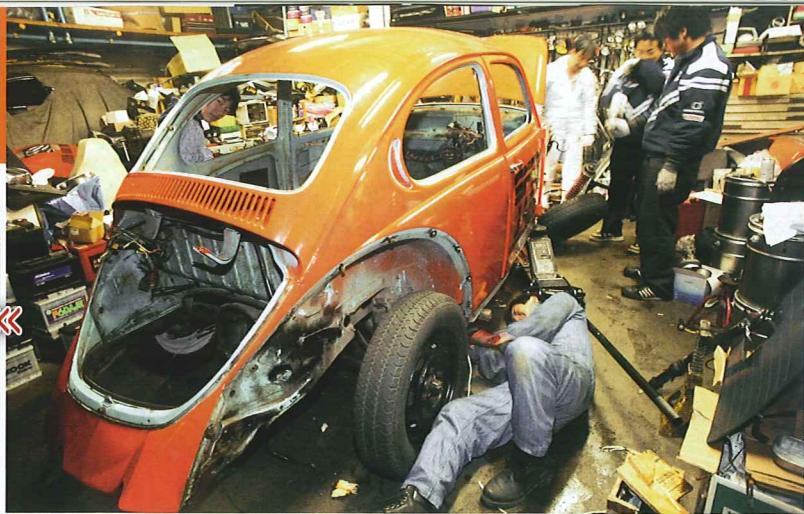


山崎社長親子vs森口&半谷チームでアクウォーターのガラス外し競争
をしたもの、あっけなく敗退。どうせウェザーストリップは新品に交換する
んで、フロント側はカッターで切って外した。



後はダッシュを外せば室内はインガラ。古
Q編集長と一緒にこっちをのぞいている
のは、手伝いにきてくれた森口カメラマン
の長男TOKIO君。将来は絶対にVW
ビートルに乗るそうだ。頼もしいね。

さてボディをシャシから外すぞ!



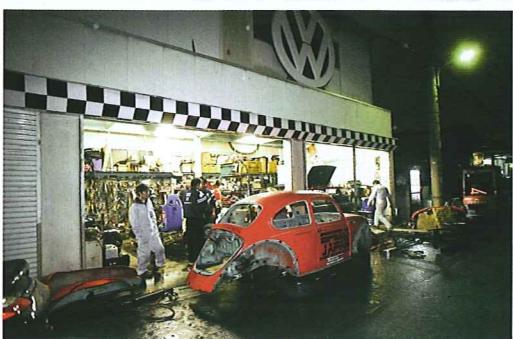
ビートルのボディとシャシ(プラットフォーム)はボルトで固定されており、それを外せば分離できる。ただし、1302／1303のようなフロントにストラット・サスペンションを採用しているタイプは、アッパー側や操舵系がボディにつながっているのでその分面倒だ。古Q編集長は鋸びたチャンネル部分を剥がす作業を担当。

今月の
見どころ!



ボディとシャシの結合部分が全て外れたので、いよいよ本日のハイライト、分離作業に入る。山崎社長も若い頃は4人でやったそうだが、さすがにもう皆若くないし腰痛持ちもいるので(笑)、無理はしないで6人で作業することにした。少しでも持ち上げる高さを低くするために、シフトレバーまで外している。「せえ～の～、おっ重いことは重いけど、思ったほどじゃないね」。というわけであっけなく作業は完了。普通のクルマではフレームアップでレストアというのはめったに行なわない作業だろうが、空冷ビートルではここまでやらないとレストアの範囲には入らない。

お疲れさま! 次号からボディの板金・塗装へと続く



とりあえず今回の作業は終了。みなさん、お疲れ様でした。今回はフロントサスがストラットの1303なのでここまでで5時間かかってしまったが、普通のトーションバーのクルマであれば半日仕事だという。やっぱり趣味のクルマっていうのは、メカニズムがシンプルるのが一番だ。次回はこのボディを某所にある板金塗装工場へと運び込み、ボディの塗装作業に入ることにする。どんな色にするか? 次号をお楽しみに。